

Target 1

豊かな感性と人間性を育み 伝統文化を継承するまち

「教育改革」をさらに推進

●教育アドバイザーの招へい

埼玉県と共同で行う学力・学習状況調査の結果分析と、課題解決に向けた授業改善は、文部科学省の専門官と実践的スキルを持つ有識者2名を新たに「教育アドバイザー」として招へいし、強力に推進します。

●「コミュニティ・スクール」の導入

「社会に開かれた学校」を目指し、小原小・中学校に本市初の「コミュニティ・スクール制度」を導入。通称「小原学園」として小中一貫のカリキュラムを編成し、特色ある小規模特認校としてスタートします。

●外国語教育の充実

令和2年度から外国語が教科化されることを踏まえ、ALT（外国語指導助手）を増員し、小学校低学年と幼児教育から外国語教育を実施します。さらに、小・中学校の全学年を対象に英語検定試験への補助を行うとともに、「小中学校英語教育特区」の認定を目指します。



●幼児教育の充実

専門的なノウハウを有する宮城教育大学と連携し、幼児教育の充実を図ります。

Target 2

安心して子どもを産み育て 心やすらかに暮らせるまち

だれもが支え合い
共生できる社会づくりを推進

●地域共生社会の実現

「白石市地域福祉計画」の策定を進め、地域福祉を構成する住民や関係団体との連携、協働の仕組みづくりを推進します。また、「白石市障害福祉計画」「白石市障害児福祉計画」の次期計画策定を進め、だれもが相互に人格と個性を尊重して支え合う共生社会の実現を図ります。



●健康づくり支援

仙台大学と「働き世代から始める健康づくり推進事業」を立ち上げ、働き盛り世代が正しい生活習慣と運動習慣を身に付け、生活習慣病にならないよう取り組みます。

また、「造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助金」を新たに創設し、小児がんなどの治療で免疫が低下または消失した20歳未満の方が、再度予防接種を受ける際の費用を助成します。

●高齢者支援

「白石市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定を進め、在宅医療と介護の連携や認知症施策などの推進を図ります。また、市民のだれもが参加し、楽しく介護予防できる「いきいき百歳体操」の活動支援を行い、健康寿命の延伸を図ります。

●子育て支援

「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指します。「子ども医療費助成事業」は、通院・入院とも所得制限なしで中学3年生まで助成します。本市初の民設民営による「小規模保育事業所」や、深谷保育園に替わる私立認可保育園、認定こども園へ移行するひかり幼稚園を支援し、待機児童の解消に努めます。

●地域医療の確立

白石市医師会や仙南歯科医師会白石支部とさらなる連携を図り、安全・安心な医療提供体制に努めます。さらに、仙南地域の医療体制が、国の重点支援区域に選定され、公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院で医療機能の分化と診療科目の再編、機能別病床数の調整が協議されていることから、公立刈田総合病院の経営健全化を継続して支援します。

令和2年度 施政方針 主要事業紹介

2月19日、山田裕一市長が第439回白石市議会定例会で施政方針演説を行い、令和2年度の市政運営の基本的な考え方を明らかにしました。今月号では、その内容と本年度の主立った事業をお知らせします。



勇往邁進

将来にわたり持続可能な白石市を目指し
さまざまな課題に向き合います

「教育改革元年」と位置付けた令和元年度は、次世代を担い新たな社会の価値を創造する子どもたちの確かな学力の育成をはじめ、さまざまな施策を進めてきました。市長就任から4年目を迎える令和2年度は「教育改革」をさらに推進するとともに、市民主導による持続可能な地域づくりを推進するため、さまざまな目標の実現に向けて「勇往邁進」する所存です。

しろいしSunPark グランドオープン

地方創生の「核」として整備を進めている農工商連携を核とした賑わい交流拠点「しろいしSun Park」は、4月にグランドオープンを迎えます。今後一層の農林業振興と6次産業化促進、子育て支援の充実を図るため、各施設・事業者が連携

することで賑わいの相乗効果を生み出し、宮城県南地域の一大交流拠点となり、市全体にさまざまな波及効果が広がるよう、積極的なPRと運営事業者への支援を行います。

第6次白石市総合計画を策定

令和2年度は、「第5次白石市総合計画」の最終年度となります。「人・暮らし・環境が活躍する交流拠点都市づくり」を指し掲げてきた5つの目標を押し進めながら、本市の新たな将来像となる「第6次白石市総合計画」を策定します。

人口減少や少子高齢化など社会情勢が大きく変化する中においても、地域を担う人材を育成し、将来にわたって賑わいと活気のあるまちであり続けるよう、多くの市民の皆さんの意見を反映しながら創り上げていきます。



「しろいし Sun Park」は、地元食材活用レストラン「みのりKitchen」が加わり、4月にグランドオープン